

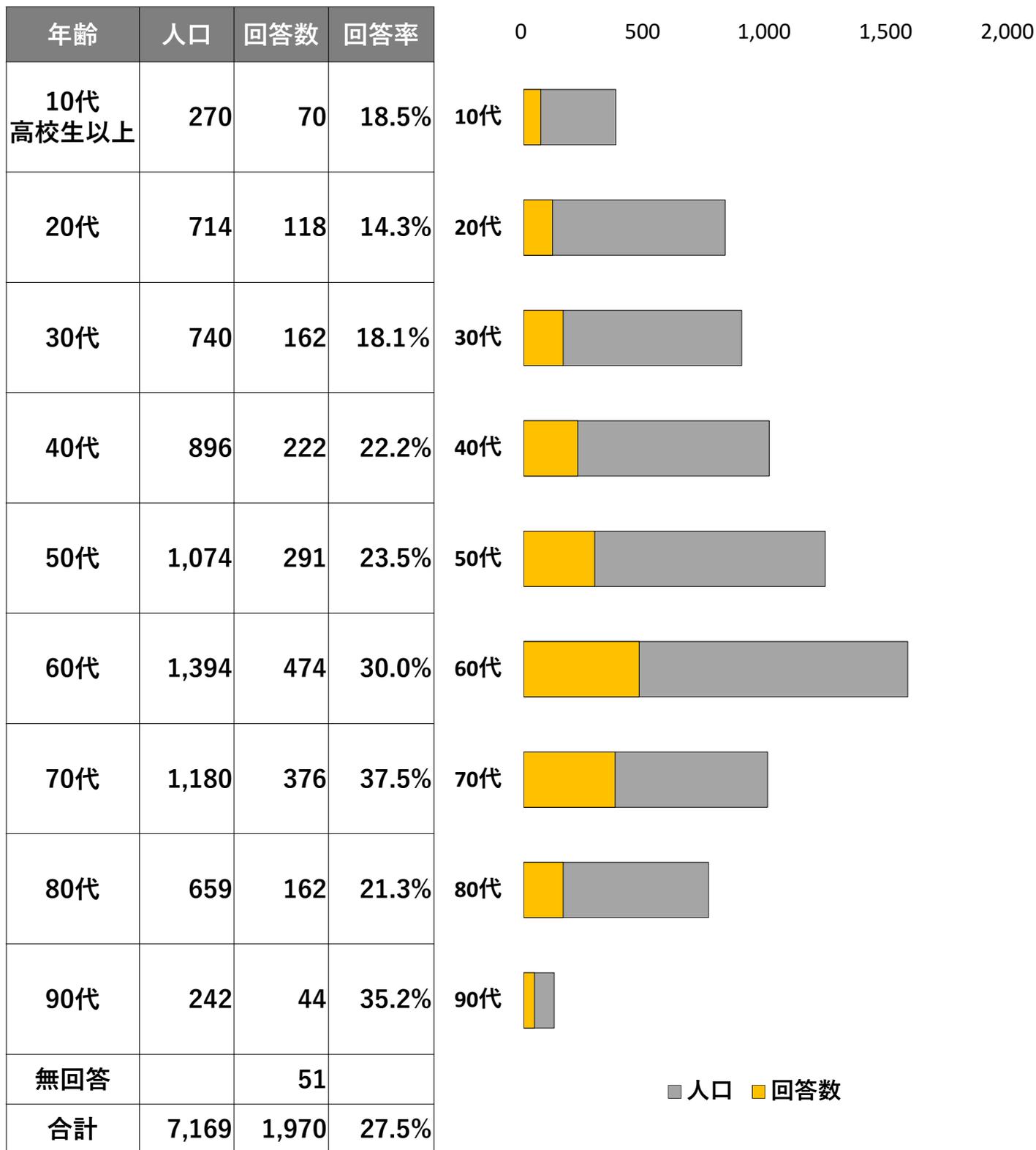
新利根地区公共交通に関する アンケート調査報告書

アンケート期間：R2.10.8 ～ R2.10.26

令和3年3月
稲敷市 産業振興課

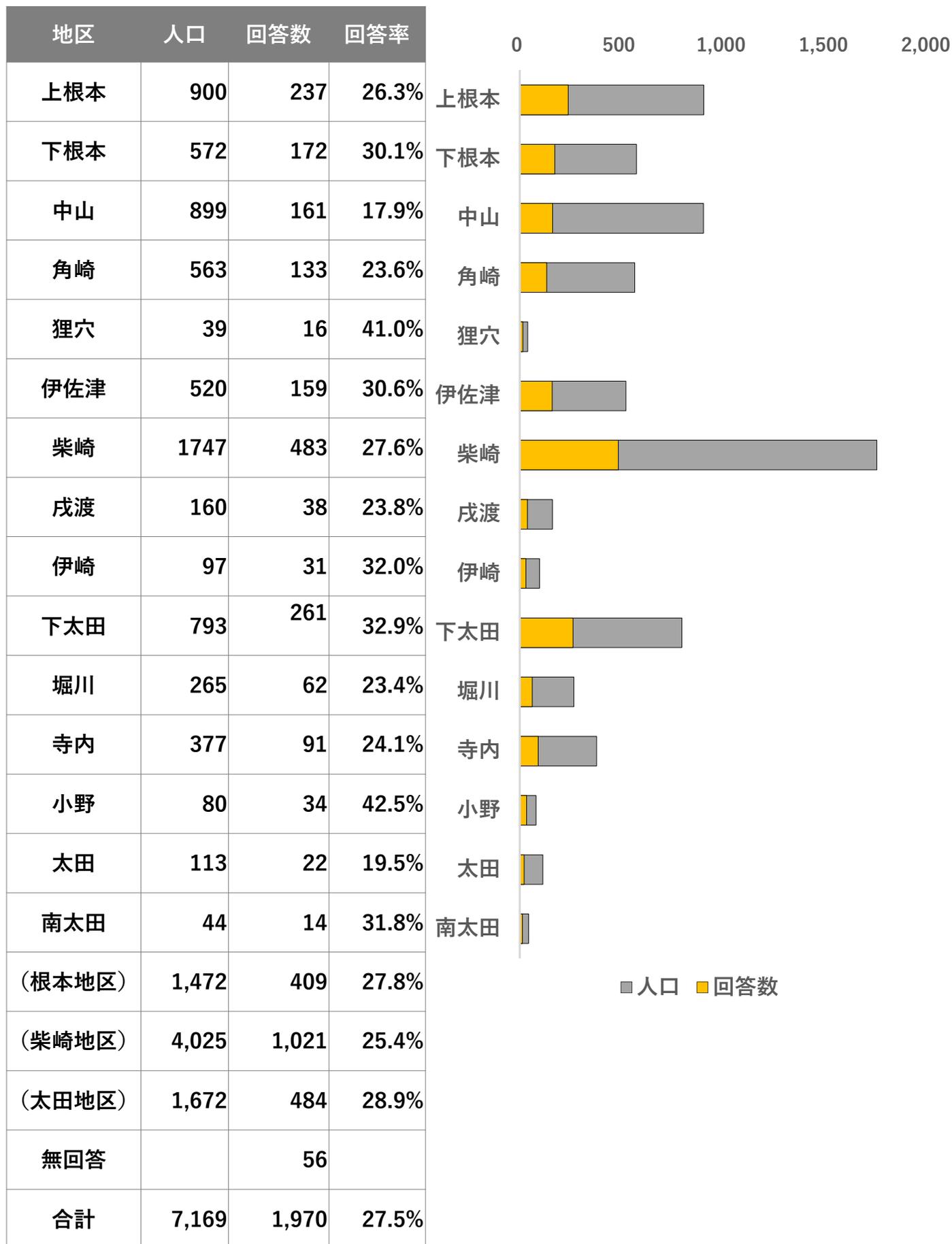
年齢別の回答数・回答率

60代以上の中高年の方の回答率が高く、公共交通への関心が高いと考えられます。10～50代の比較的若い方は回答率が低い結果となりました。



地区別の回答数・回答率

地区によってばらつきがありますが、
旧小学校区でまとめると、おおむね27%の回答率です。

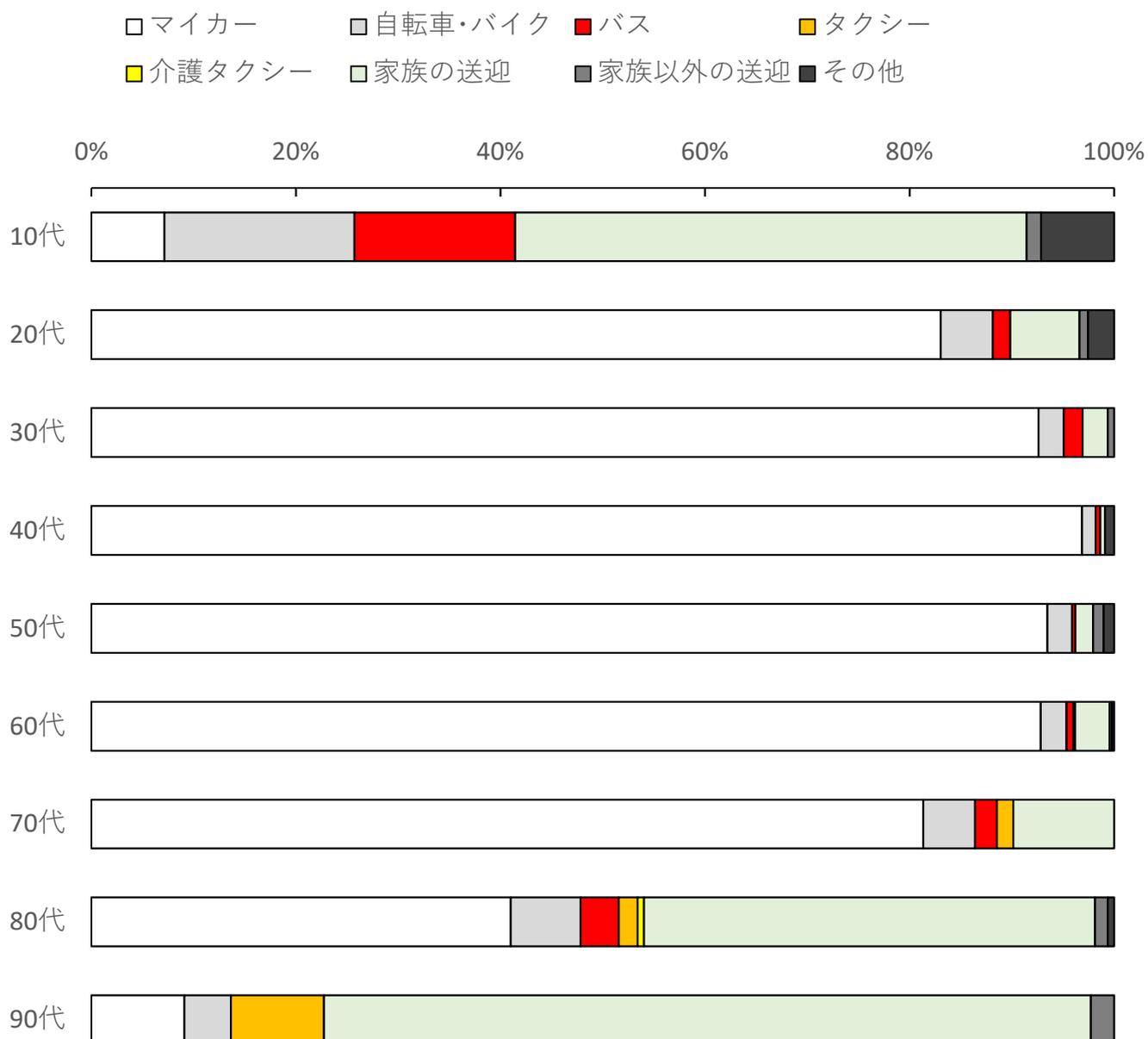


普段の移動手段

20代から70代はマイカー移動が中心となっています。

10代では15.7%の人がバスを利用しています。

家族の送迎に頼っているのは、10代で50.0%、80代で44.1%、90代で75.0%となっています。

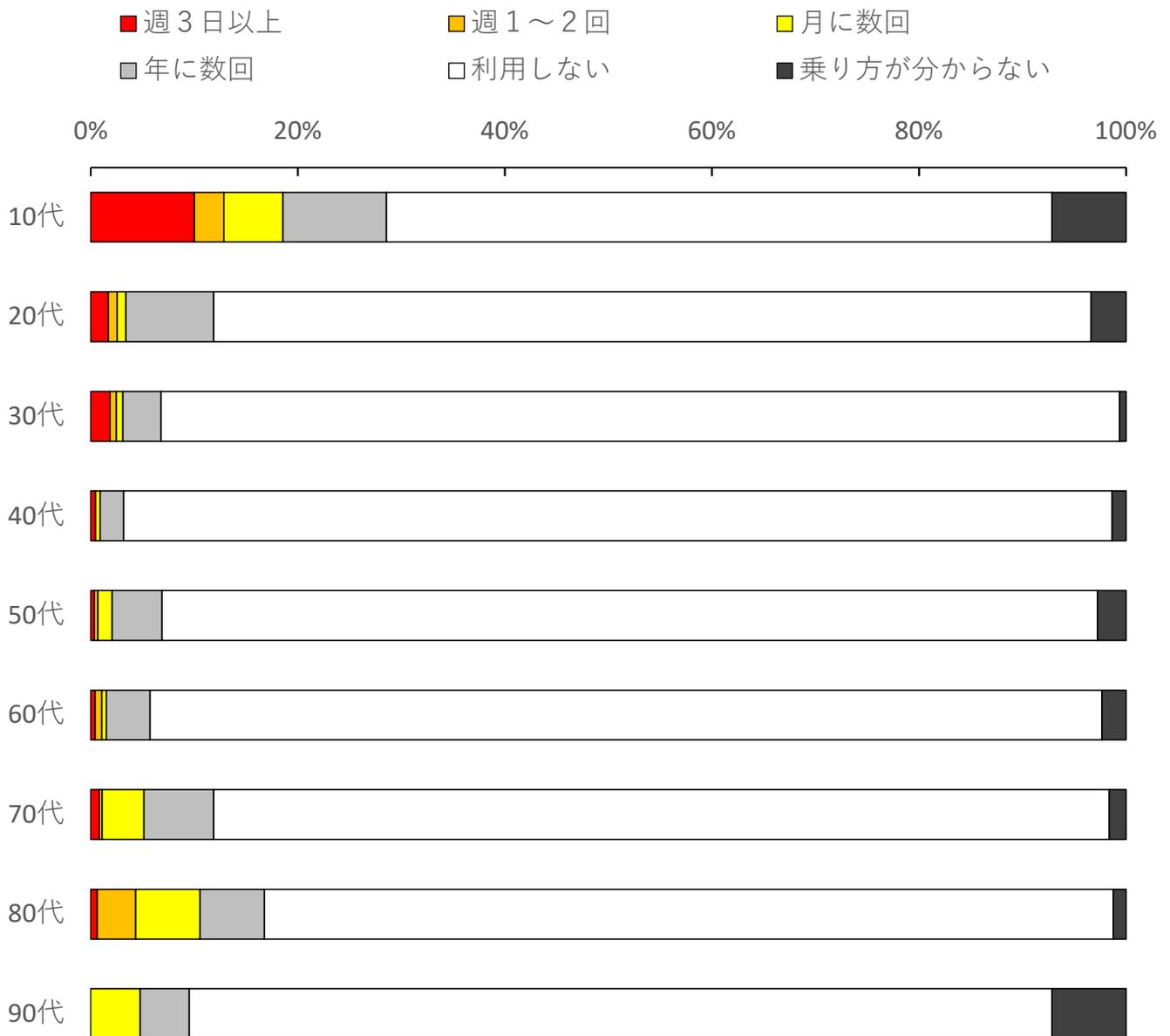


路線バスの利用頻度

多くの方が「利用しない」と回答しています。
バスを利用する人が比較的多いのは、10代と高齢者です。

高校生は、通学で毎日利用する人が多いと考えられます。

高齢者は、買い物で週1～2回、通院で月に数回利用する人が多いと考えられます。



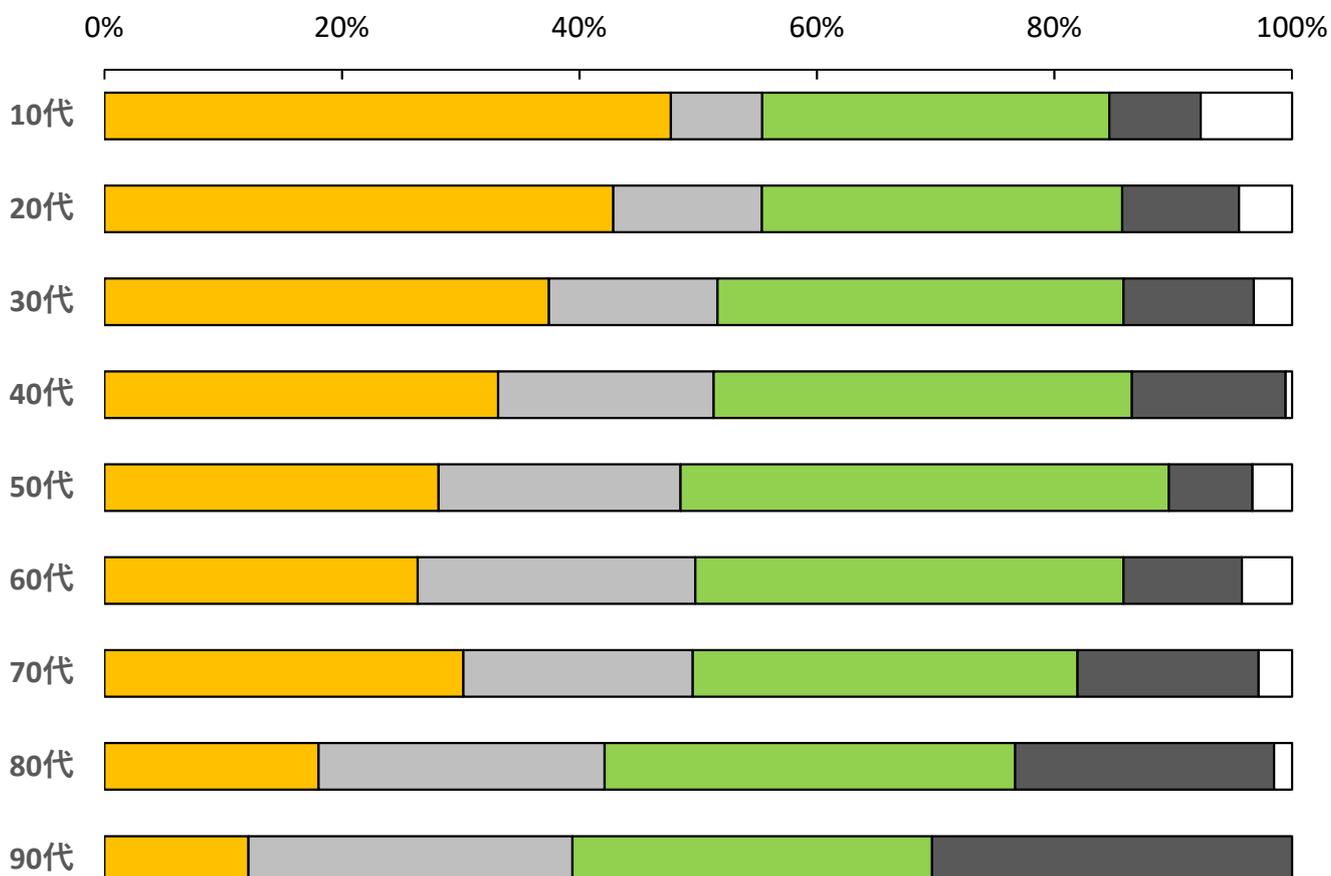
高齢者の移動手段対策として求めるもの

若い人は、コミバスの充実という回答が多い傾向です。

高齢者では「福祉の充実」「タクシーの充実」が多い傾向です。
年齢とともに「家族や地域の助け合い」を求める割合が多くなっています。

免許返納をする年代になると、バスに乗ることや、バス停まで歩くことが難しくなってくると考えられます。

- コミバスを走らせてほしい
- 高齢になってからはバスに乗れないのでタクシーを充実させてほしい
- 福祉事業で買い物や通院の支援を充実させてほしい
- 家族や地域で助け合えば、税金を使わずに済む
- その他

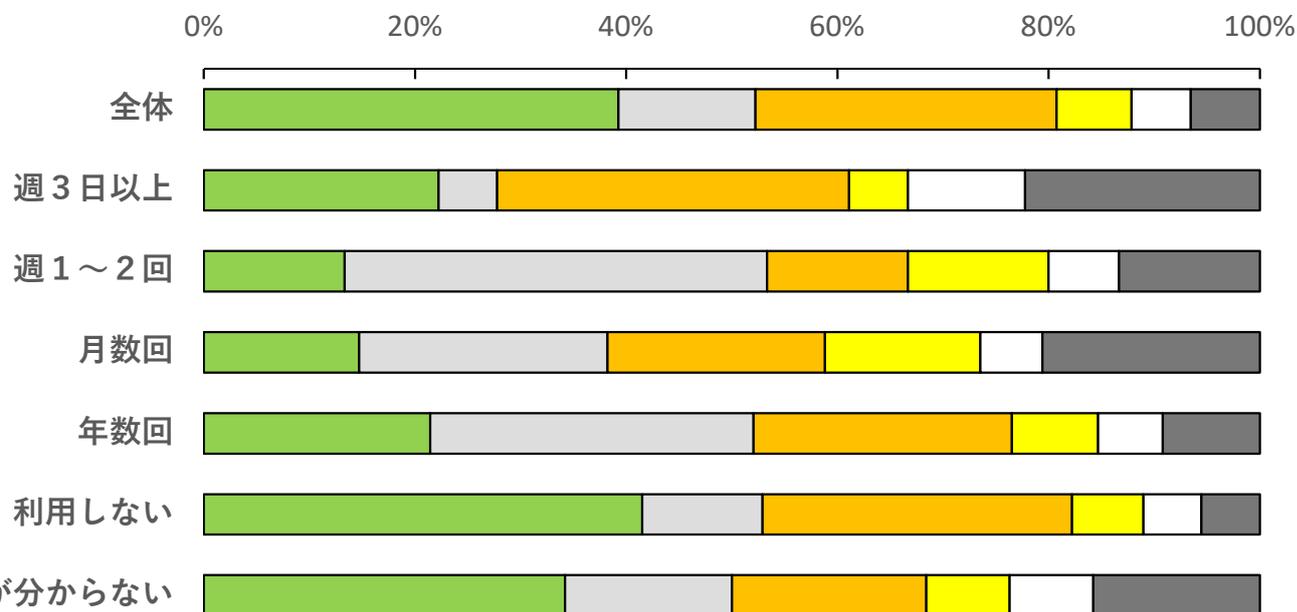
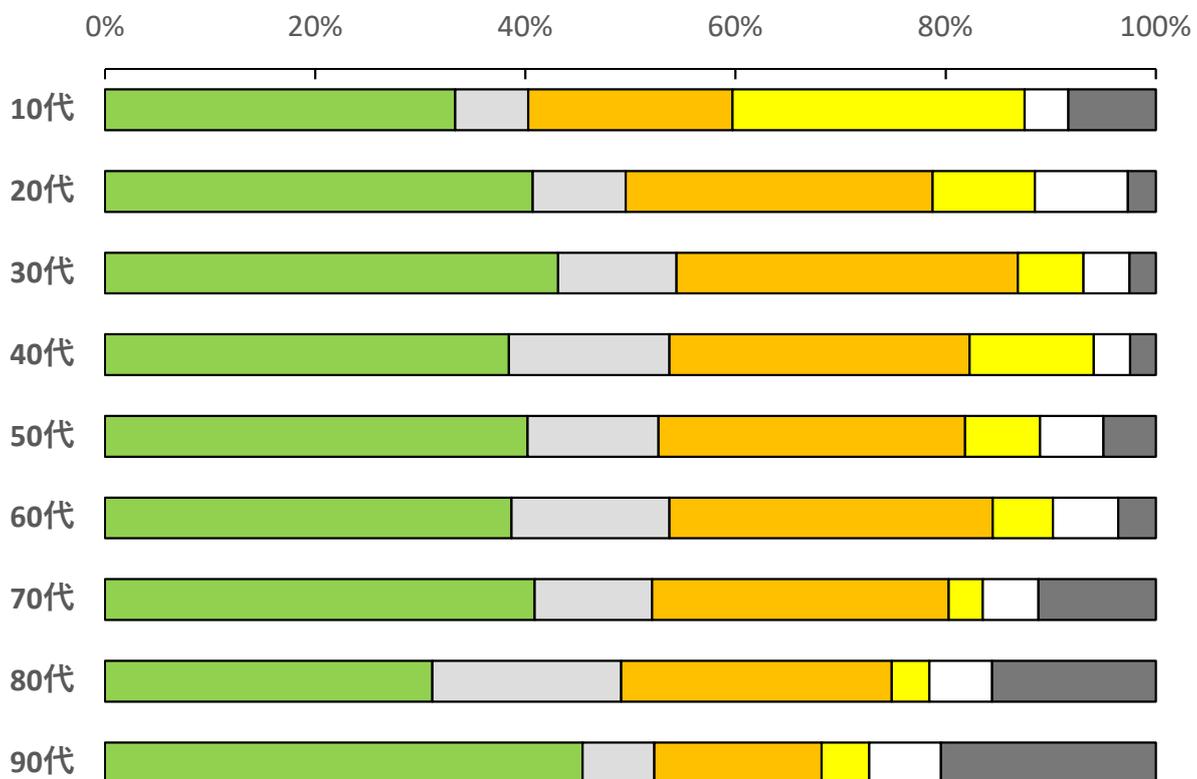


関鉄バス(龍ヶ崎方面)の存続について

年齢別にみると、どの年代も「廃止もやむを得ない」「小学校の通学に活用する」の回答が多くなっています。

一方、バスの利用頻度ごとにみると、**普段から利用している人は、廃止を望まない**ことがわかります。

- 国県の補助金が打ち切られたら廃線もやむを得ない
- 補助金が打ち切られても稲敷市が全額負担し存続させる
- 新利根小学校の通学に活用し、利用人数を増やす
- 高校生に利用してもらえるよう対策する
- その他
- 複数の選択肢を選んだ人



乗り方が分からない

バスが必要な行き先（目的別）

バスが必要な行き先は多い順に、以下のとおりです。

- ① 龍ヶ崎 ② 江戸崎 ③ 新利根地区内

目的別では多い順に、以下のとおりです。

- ① 買い物 ② 通院 ③ 通勤 ④ 通学

年2000回以上
(1日4人以上)

年1000回以上
(1日2人以上)

年500回以上
(1日1人以上)

		目的						
		通勤	通学	買物	通院	趣味	その他	合計
行き先	新利根地区内	516	0	7,200	1,805	127	0	9,648
	江戸崎	413	2,184	8,049	1,409	520	230	12,805
	桜川	0	0	0	0	0	0	0
	東	0	0	310	0	10	0	320
	龍ヶ崎	3,406	1,978	5,819	5,008	420	119	16,748
	牛久	0	1,754	8	1,118	310	0	3,190
	土浦	1,446	691	72	111	24	0	2,343
	美浦・阿見	480	0	0	88	0	0	568
	河内	0	0	0	0	0	0	0
	利根町	0	0	0	0	0	0	0
	取手	96	0	0	0	104	0	200
	千葉県	516	516	1,754	144	510	8	3,448
	その他	516	0	216	128	136	0	996
	合計	7,384	7,123	23,428	9,811	2,160	358	50,267

具体的な目的地（主要回答のみ抜粋）

新利根：カスミ、角崎クリニック

江戸崎：パンプ（カスミ）、タイヨー、江戸崎眼科、江戸崎総合高校

龍ヶ崎：済生会病院、駅（竜ヶ崎駅、龍ヶ崎市駅）、たつこのモール

千葉県：成田イオン、成田赤十字病院、駅（滑河駅、成田駅）

バスが必要な行き先（地区別）

地区ごとに公共交通のニーズを集計し、色分けしました。
次ページに地図上でわかりやすく表しました。

年2000回以上
(1日4人以上)

年1000回以上
(1日2人以上)

年500回以上
(1日1人以上)

		行き先（上位6か所のみ）					
		新利根	江戸崎	龍ヶ崎	牛久	土浦	千葉県
自宅	上根本	1,123	929	3,304	230	0	516
	下根本	850	516	5,286	1,001	770	0
	中山	0	516	1,493	12	0	296
	角崎	0	1,422	636	151	643	103
	狸穴	0	0	0	0	0	0
	伊佐津	946	763	440	540	406	6
	柴崎	2,765	4,874	3,192	699	0	2,064
	戌渡	0	0	0	0	0	0
	伊崎	0	413	413	0	0	0
	下太田	890	2,662	1,236	485	8	2
	堀川	533	103	0	24	0	0
	寺内	2,033	536	647	48	0	0
	小野	485	72	103	0	0	413
	太田	0	0	0	0	516	0
	南太田	24	0	0	0	0	48
	合計	9,648	12,805	16,748	3,190	2,343	3,448
		(根本地区)	1,972	1,445	8,590	1,231	770
	(柴崎地区)	3,710	7,988	6,173	1,402	1,049	2,469
	(太田地区)	3,965	3,373	1,986	557	524	463

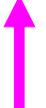
移動のニーズ (大字別)

【凡例】

年2000回 (4人/日) 以上

年1000回 (2人/日) 以上

年500回 (1人/日) 以上



桜川

東

千葉県

江戸崎

堀川

下太田

太田

寺内

柴崎

新利根

伊佐津

中山

角崎

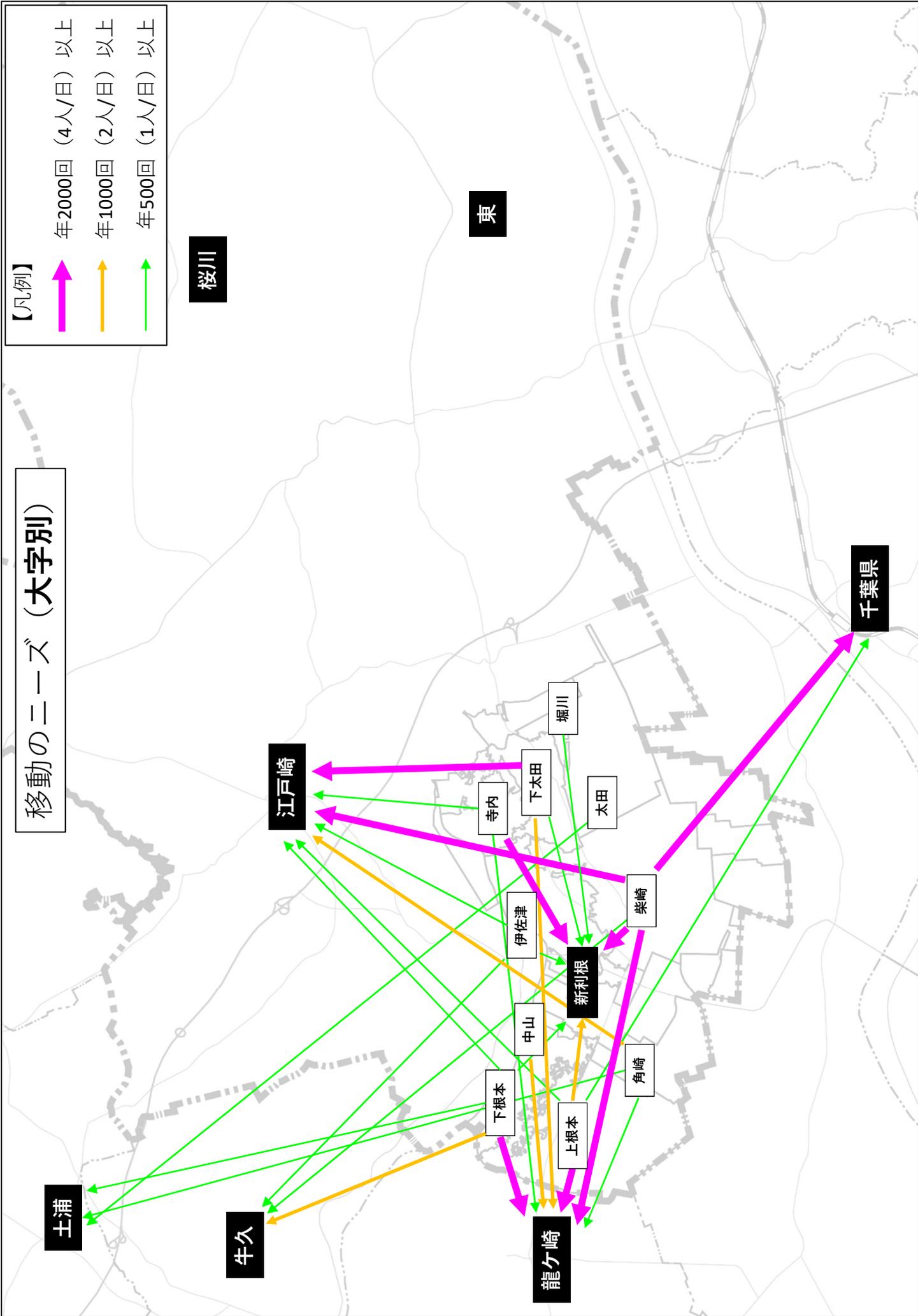
下根本

上根本

土浦

牛久

龍ヶ崎



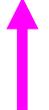
移動のニーズ (旧小学校区別)

【凡例】

年2000回 (4人/日) 以上

年1000回 (2人/日) 以上

年500回 (1人/日) 以上



桜川

東

千葉県

江戸崎

太田

柴崎

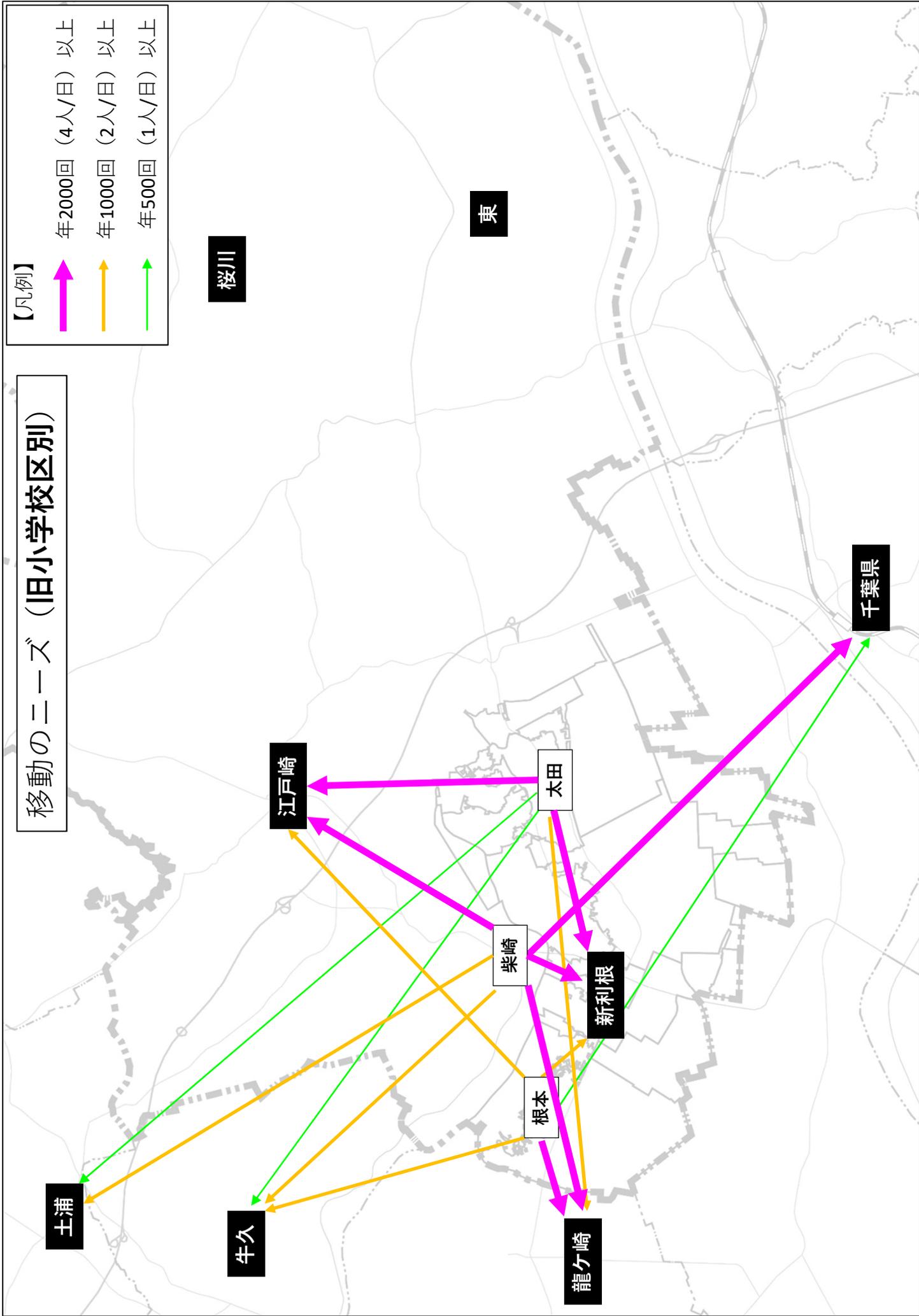
新利根

根本

土浦

牛久

龍ヶ崎

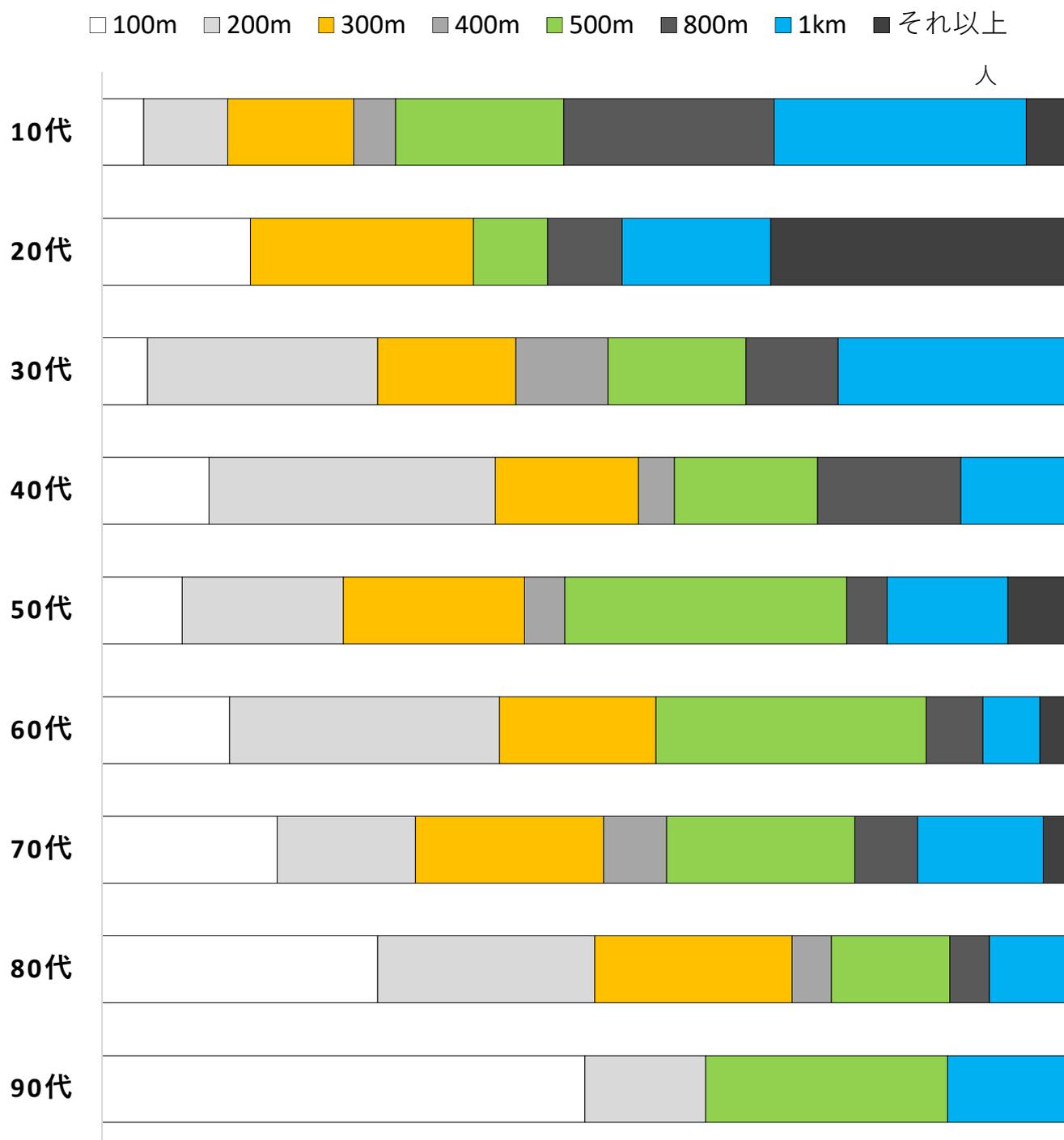


我慢できるバス停の距離

10代（高校生）は500m以上の回答が多くあります。

高齢者は300m以内を希望していることがわかりました。

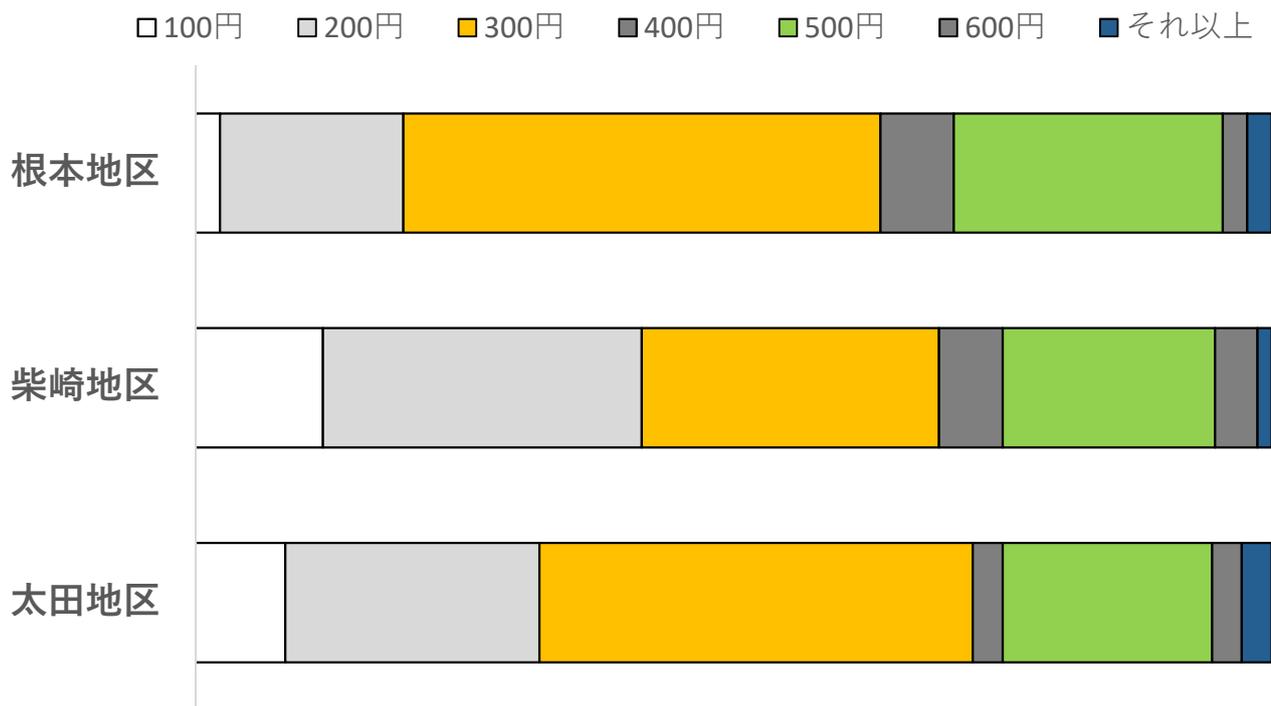
80代以上は、100m～200m以内を希望する人が増え、バス停まで歩くことが、体力的に難しくなる年代だと考えられます。



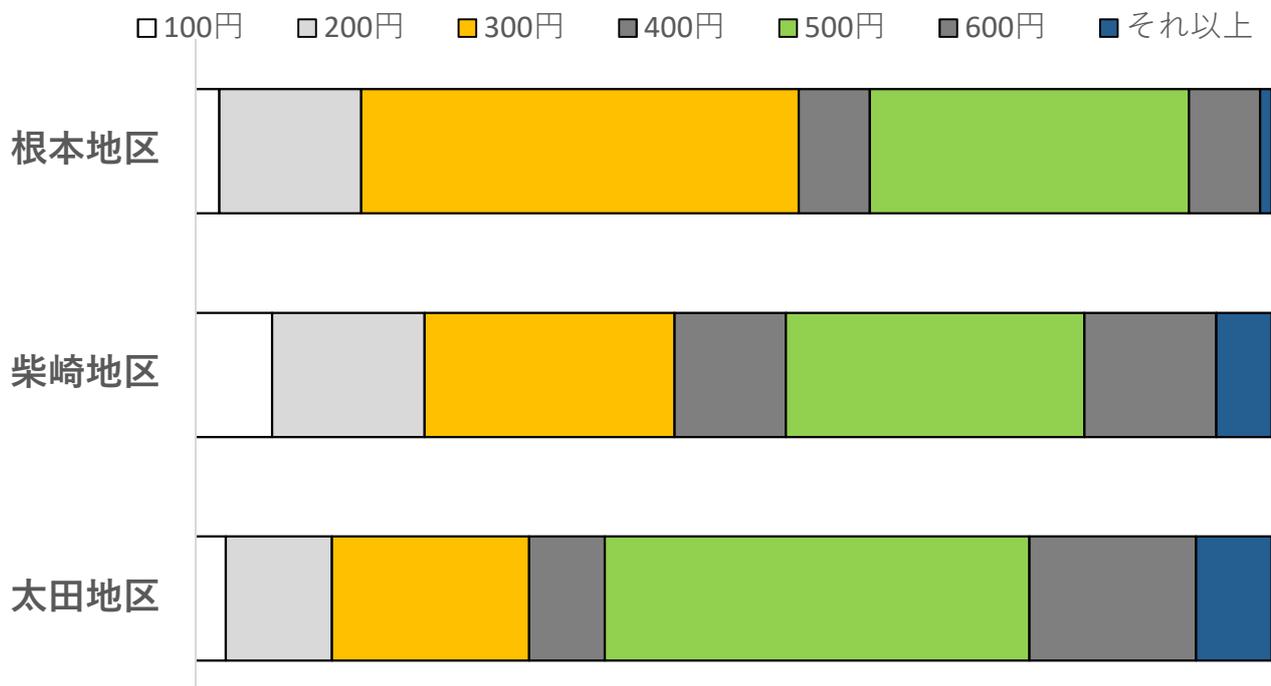
我慢できる運賃

我慢できる運賃は、距離が遠いほど上がる傾向になりました。
現在の運賃は、関鉄バスの角崎坂下～江戸崎が550円、
角崎坂下～済生会病院が490円です。

自宅から江戸崎へ行く場合の運賃

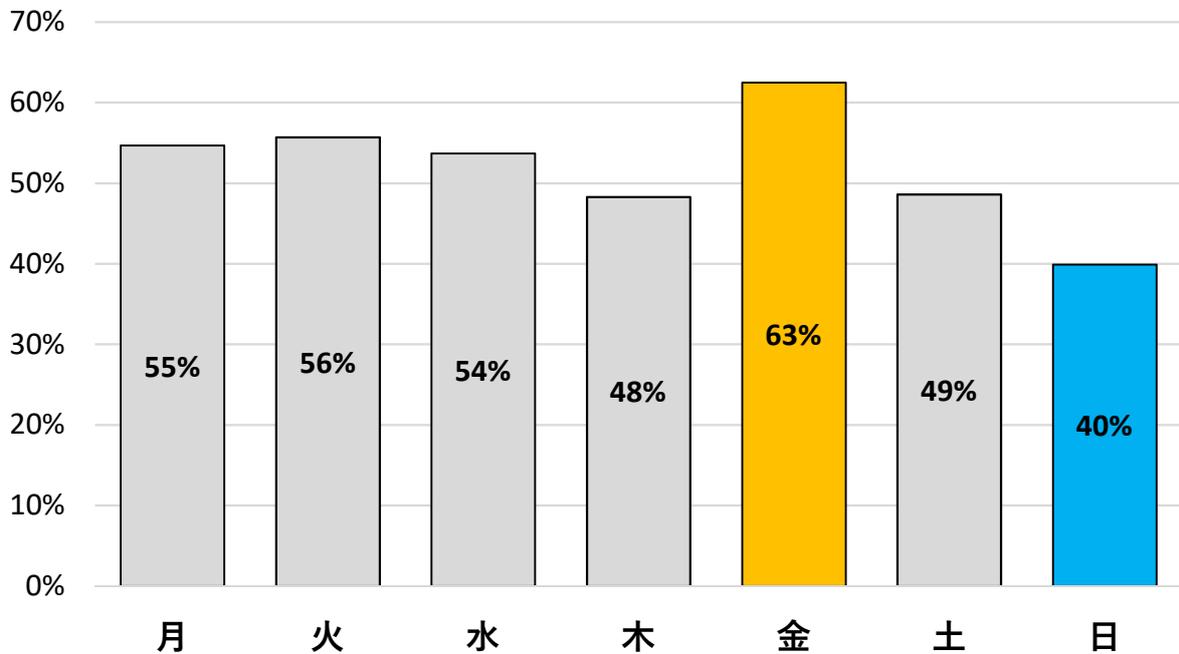


自宅から龍ヶ崎へ行く場合の運賃



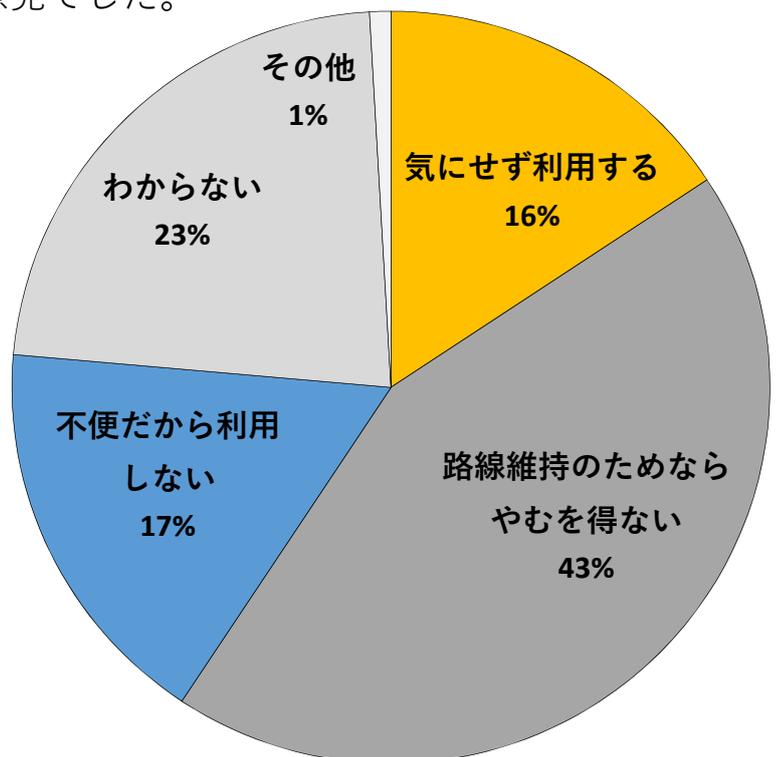
公共交通が必要な曜日

曜日により、ニーズに差があることがわかりました。
金曜日のニーズが高く、日曜日のニーズが低くなっています。
木曜日は医療機関が休診のためニーズが少ないと考えられます。



事前予約制 (デマンド運行) について

必要な時に事前予約して利用するデマンド型の公共交通については、賛否両方の意見が同程度ありました。
4割の人はやむを得ないという意見でした。



稲敷市公共交通の今後について

アンケートでいただいた意見を参考に、今後の稲敷市公共交通の目指すべき姿を「稲敷市地域公共交通計画」として取りまとめる予定です。
その後、計画に基づき、路線再編や利用促進施策を実施していきます。
なお、公共交通施策は、「稲敷市地域公共交通活性化協議会」で議論し、決定いたします。

	江戸崎	新利根	桜川	東
H30				アンケート調査
H31 R1			アンケート調査	
R2	バス再編		バス再編	バス再編
	アンケート調査	アンケート調査		コミバス導入
R3	地域公共交通計画（マスタープラン）の作成			
		バス再編		バス再編
R4 ～	計画に基づくバス路線の再編、利用促進施策の実施			

稲敷市地域公共交通活性化協議会とは

法律に基づき、稲敷市地域公共交通計画の策定をする機関です。

また、コミュニティバス等のルート・ダイヤは、全て協議会で承認を得ることとなっています。

市、県、国、警察などの官公庁、バス会社、タクシー会社のほか、市議、住民代表者など約30名で構成し、それぞれの立場で公共交通の安全面、費用面、利便性について協議しています。